

事例 フェローホームズ富士見町相談センター

恵比寿会（東京都） 〒190-0013 東京都立川市富士見町2-36-43 TEL 042-523-7601

活動の概要

週2回、午前9時から午後5時の時間帯で福祉相談を行っています。
平成15年5月に開設して10ヶ月を経過し、相談延件数114件、ケアマネジャーと行政経験をもつ嘱託職員であっています。訪問者は主に高齢者ですが、精神障害、知的障害の人にも対応しています。
相談の内容の主なものは、本人の健康・介護する人が抱えている不安や、どういう施設があるのか等。

法人の概要

昭和60（1985）年、特別養護老人ホーム建設のための社会福祉法人設立準備会を発足させました。平成3（1991）年、特養「フェローホームズ」の工事着工、場所は「国営昭和記念公園」の広大な眺望を北に見て、道路をはさんで位置する好環境にあります。

翌4年4月、入所者100名、職員40名で入所開始となりました。5月にデイサービスを立川市からの業務委託で開始しました。

平成10年には羽衣地域福祉サービスセンターを受託し、在宅介護支援センターを開設しました。

介護保険の発足に伴い、在宅福祉事業にも力点を入れています。

- 経営施設数…2
- 法人全体の年間事業収入…640,000千円
- 主な経営施設
 - 特別養護老人ホーム 平成4年設立
定員100名
 - 通所介護事業 平成4年設立
定員35名
 - 地域福祉サービスセンター 平成10年設立
定員45名
 - 在宅介護支援センター 平成11年設立

活動の内容

- 活動対象者…地域の高齢者、家族
- 活動の頻度…週2回 1回8時間
- 年間延利用者数…114名
- 活動開始年…平成15年

■活動開始の背景（取り組みの経緯）

昭和42（1967）年に建設された富士見町団地の空き店舗の活用の打診を受けて、法人として検討した結果、この地域の高齢化率に着目しました。建設から36年、建物の老朽化もさることながら高齢化率20%、4年後には4人に1人が高齢者になると思われます。

1,525戸、3,050人が住んでいる5階建て、エレベーターのない団地です。またこの団地をとりまく周辺の地域も公営住宅が散在しています。同じ富士見町で本体の法人、特養老人ホームがある2丁目から1キロ南に位置するこの地域のかかえている少子・高齢問題と向きあうことで、私たちの法人の未来に方向性をあたえてくれるものと考えています。

■人材・資金面等での工夫、苦慮

限りある人材をやりくりして（相談にお答えするには答えられる人材の配置）週2日の営業ですが、家賃支払等の効率を考えると営業日数を増やすべきであり、その要望も強く聞かれます。しかし現在はここでの収入はゼロですが、100%持出し分が地域貢献になっていれば、目先のことでなく社会福祉法人としての使命を全うすべきと考えます。

人員配置はケアマネジャー1名を含む2名体制で運営しており、資金面では法人本部の負担となっております。

民間企業の福祉への参入で競争の激化が今後ますます続くことは事実であり、他より特色を出すことで私ども法人の存在をアピール出来ればと考えています。

■利用者の声、地域の反応

平成15年7月の午後、75歳位の女性の訪問者がありました。話を聞いてみると、一人暮らしでの将来の不安、身体の衰えからくる何となく不安、とにかく何となく不安ということでした。市の制度に「見守り」の仕組みがあるので、すぐに在宅介護センターにつながりました。

4日後にセンターからコンタクトがとれないと連絡があり、団地の管理人と部屋に入ってみると既に亡くなられていました。どういう対応が適切であったのか、いまだに悩んでいます。

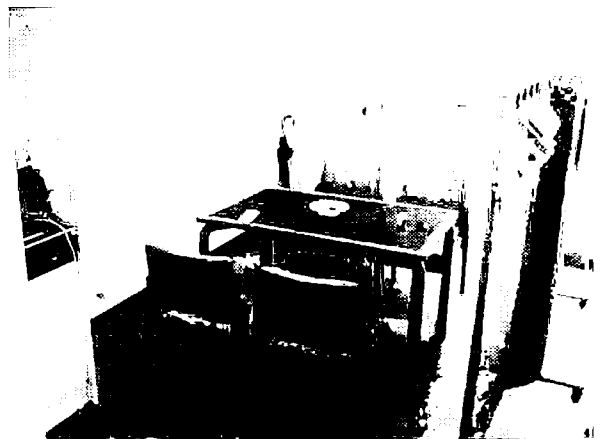
こういう場が出来て、何となく安心という声が多数寄せられていますが、反面すぐには何も出来ないではないかとも言われてもいます。

■活動の成果、地域の影響、今後の課題

2年前に結成された高齢者ボランティア団体「あすなろ」と交流をはかり、この団地の一員として行動しています。また、地域の民生委員（4名）と懇談会を行って、地域がかかえている問題の共有化に努めています。

公的なサポートを受けていないため、相談に対してすぐに対応でき得ないのが難点といえます。

平成16年度は各種相談機能を持つ事業を考えています。



相談コーナー